

環境経営レポート

【レポートの対象期間：2022年度：2022年8月～2023年7月】

有限会社横手製作所



有限会社横手製作所
代表取締役
横手 孝輔

《目次》

1. 組織の概要	P-1
2. 対象範囲	P-1
3. 環境経営方針	P-2
4. 環境経営目標	P-3
5. 環境経営計画	P-3
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	P-4
7. エコアクション21取組の実施体制	P-5
8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P-6・7
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	P-8
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-8

1. 組織の概要

1. 事業所及び代表者名

有限会社 横手製作所
代表取締役 横手 孝輔

2. 所在地

〒377-0027 群馬県渋川市金井190

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 代表取締役 横手 孝輔
環境管理責任者 : 横手 信宏
担当 : E A 2 1 事務局 善養寺 直樹
TEL : 0279-22-3388
FAX : 0279-22-3390

4. 事業の内容

金属製品製造業

5. 事業規模

活動規模	単位	2021年	2022年
従業員数	人	17	18
延べ床面積	m ²	3,542	3,542

2. 対象範囲

1. 対象範囲（認証・登録範囲）

有限会社横手製作所 全組織及び全活動

環境経営方針

〔基本理念〕

有限会社横手製作所は「環境負荷の低減活動を通じて経営基盤の充実と地球環境保全に貢献する」という基本理念のもとに、企業活動を通じて人類の健康と安全に寄与し、かけがえのない地球の環境と共存する企業を目指して、下記の行動指針を定める。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ継続的に取り組みます。

1. 事業活動、製品において、環境活動に適切に対応する以下の環境管理活動を実施し、社会的要求に応え、「美しい地球」づくりに寄与いたします。
また、作業効率のアップ及びコストダウンの推進により高利益の達成を図ります。
 - ①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力の削減・使用化石燃料の削減に努めます。
 - ②6S活動を通じて省資源を推進する。
 - ③廃棄物の分別及び減量化とリサイクルの推進をする。(5R活動の推進をする。)
2. 環境目的及び目標を定め、その達成の為最善の努力をする。
又、環境マネジメントシステム、エコアクション21の継続的運用、継続的改善を図り、汚染の予防に努め、環境目的及び目標は、逐次見直しをする。
3. 環境関連法規、協定及びその他の要求事項を遵守し、環境の保全と向上に努める。
4. 全社員が環境方針を理解、周知徹底が図れるよう、又環境に関する意識の高揚に努められるよう、本方針に則した環境教育、社内広報活動を実施する。
5. 環境方針は積極的に社外へ公表する。

制定日：2022年 9月30日

有限会社横手製作所

代表取締役 横手 孝輔

4. 環境経営目標 5. 環境経営計画

環境経営目標				環境経営計画
	項目	基準年	2022年目標	実施事項
1	売上100万円当り二酸化炭素排出量の削減	2021年度 (463kg-CO2/100万円)	2021年度に対して0.5%減	①空調温度適正化・表示
				②照明・PC電源不要時のOFFの推進
				③エアコン清掃の実施
				④エコドライブ推進
				⑤社用車の点検・整備
				⑥電力、ガソリン量の集計
2	売上100万円当り廃棄物排出量の削減 (有価資源は含めない)	2021年度 (21.28kg/100万円)	2021年度に対して0.5%減	①分別ルールの徹底
				②廃棄物置場の整備
				③廃棄物排出量の集計
				④裏紙使用ルールの徹底
3	(総)水使用量の削減	2021年度 (76.5㎡)	2021年度に対して0.5%減	①毎月のメータを確認する(漏水防止)
				②節水呼び掛けの徹底
				③増量ノズルの点検
4	化学物質取扱及び管理の徹底	取扱商品の調査	取扱商品の調査・管理 手順の策定	①取扱商品(化学物質含有)の調査
				②購入量の把握
				③SDSの入手
				④化学物質取扱商品一覧表兼管理手順の策定
5	本業に関する目標	①購入材料の調整		
		②寸法調整製品の抑制		
		③製品キズへの配慮		

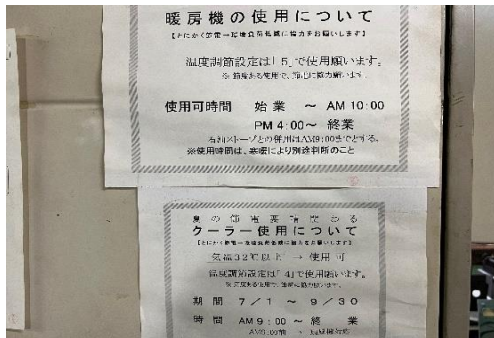
*購入電力の排出係数は、0.443kg-CO2/kWh【東京電力パワーグリッド(株)】を使用しています。

0.443kg-CO2/kWh【東京電力エナジーパートナー(株)】を使用しています。

0.644kg-CO2/kWh【ミツウロコヴェッセル】を使用しています。

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

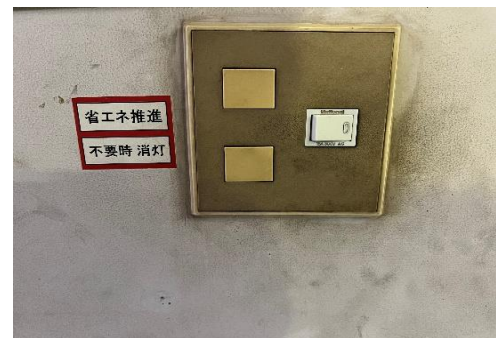
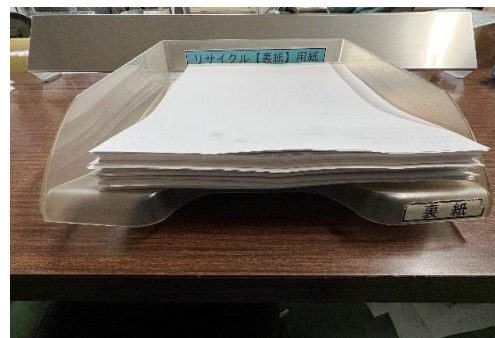
空調温度適正化・表示



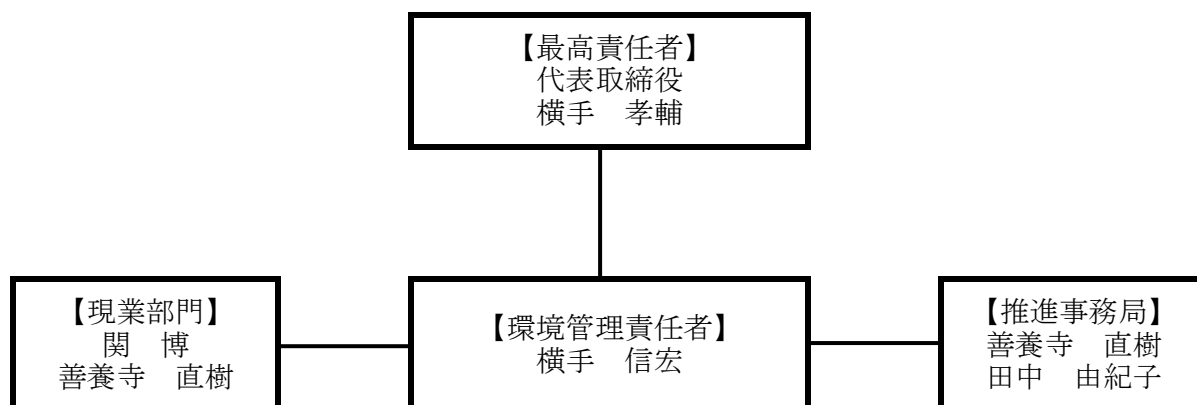
節水表示



環境に配慮した取組等



7. エコアクション21取組の実施体制



職名	役割
最高責任者	【代表取締役 横手 孝輔】 1. システム及び運用の最高責任者 2. 環境経営方針の制定、環境目的・目標の承認 3. 環境マネジメントマニュアルの承認 4. 環境マネジメントシステムの見直し 5. 環境管理責任者の任命 6. 経営資源の準備
環境管理責任者	【横手 信宏】 1. 環境マネジメントシステムの確立、実施、維持（改善を含む） 2. 環境マネジメントマニュアルの審議 3. 環境マネジメントシステムの見直しに関する審議 4. その他環境経営に関する重要事項の審議
推進事務局	【善養寺 直樹】 1. EMSの立案、運用、見直しについて管理責任者の全般的補佐 EMS-環境マネジメントシステムの略 2. 法的及びその他の要求事項一覧まとめ 3. 法的届出、法順守の評価 4. 教育・訓練計画の作成・維持 5. 自部門の重点管理項目、目的・目標の立案 6. 自部門の実施計画の作成及び進捗管理 7. 自部門の教育・訓練の実施 8. 廃棄物管理 【田中 由紀子】 1. 組織全体に関するEMS文書の作成 2. 組織全体に関するEMS文書（記録を含む）の維持・管理 3. 組織全体に関するEMS文書（含む記録）の配布・保管・廃棄
現業部門	【関 博】 【善養寺 直樹】 1. 自部門の重点管理項目、目的・目標の立案 2. 自部門の実施計画の作成及び進捗管理 3. 自部門の教育・訓練の実施 4. 購入・仕入先の管理 5. グリーン購入の実施 6. 化学物質、排水・排ガス等の管理

8. ー 1 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

環境経営目標							環境経営計画	
	項目	基準年	2022年度 目標	次年度 目標	2022年度 実績	目標の達 成状況	実施事項	評価
1	売り上げ 100万円 当り二酸化 炭素 排出量 の削減	2021年度 (463kg- CO2/100 万円)	2021年度 に対して 0.5%減 (460kg- CO2/100 万円)	2021年度 に対して 1%減	2022年度 (589kg- CO2/100 万円)	未達	①空調温度適正化・表示	◎
							②照明・PC電源不要時のOFFの推進	○
							③エアコン清掃の実施	○
							④エコドライブ推進	△
							⑤社用車の点検・整備	◎
							⑥電力、ガソリン量の集計	◎
2	売上100万 円当り廃棄 物排出量 の削減 (有価資源 は含めない)	2021年度 (21.28kg /100万 円)	2021年度 に対して 0.5%減 (21.18kg /100万 円)	2021年度 に対して 1%減	2022年度 (14.72kg /100万 円)	達成	①分別ルールの徹底	◎
							②廃棄物置場の整備	○
							③廃棄物排出量の集計	◎
							④裏紙使用ルールの徹底	△
3	(総)水 使用量の 削減	2021年度 (76.5㎡)	2021年度 に対して 0.5%減 (76.1㎡)	2021年度 に対して 1%減	2022年度 (68㎡)	達成	①毎月のメータを確認する(漏水防止)	◎
							②節水呼び掛けの徹底	◎
							③増量ノズルの点検	○
4	化学物 質取扱 及び管 理の徹 底	—	取扱商品 の調査	管理手順 の策定	取扱商品 一覧表を 作成し た。	達成	①取扱商品(化学物質含有)の調査	◎
							②購入量の把握	◎
							③SDSの入手	◎
							④化学物質取扱商品一覧表兼管理手順の策定	◎
5	本業に 関する 目標	①購入材料の調整						◎
		②寸法調整用製品の抑制						○
		③製品キズへの配慮						○

※環境経営計画の取組・評価【◎良く取組めた・○取組めた・△取組みが不足していた・×取組めなかった】

※主な環境負荷実績

環境負荷	2021年	2022年
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	71,788	80,156
②廃棄物排出量(kg)	3299.90	2,001.73

8.－2 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標						環境経営計画
	項目	基準年 (実績)	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標	実施事項
1	売上100万円 当り二酸化炭素 排出量の削減	2021年度 (463kg-CO2/100 万円)	2021年度 に対して 1%減	2021年度 に対して 1.5%減	2023年度 に再検討	①空調温度適正化・表示
						②照明・PC電源不要時のOFFの推進
						③エアコン清掃の実施
						④エコドライブ推進
						⑤社用車の点検・整備
						⑥電力、ガソリン量の集計
2	売上100万円 当り廃棄物排出量 の削減 (有価資源は 含めない)	2021年度 (21.28kg /100万円)	2021年度 に対して 1%減	2021年度 に対して 1.5%減	2024年度 に対して 1.0%減	①分別ルールの徹底
						②廃棄物置場の整備
						③廃棄物排出量の集計
						④裏紙使用ルールの徹底
3	(総)水使用 量の削減	2021年度 (76.5㎡)	2021年度 に対して 1%減	2021年度 に対して 1.5%減	2024年度 に対して 1.0%減	①毎月のメータを確認する(漏水防止)
						②節水呼び掛けの徹底
						③増量ノズルの点検
4	化学物質 取扱及び 管理の徹 底	—	管理手順 の順守	管理手順 の順守	管理手順 の順守	①取扱商品(化学物質含有)の調査
						②購入量の把握
						③SDSの入手
						④化学物質取扱商品一覧表兼管理手順の策定
5	本業に関 する目標	①購入材料の調整				
		②寸法調整用製品の抑制				
		③製品のキズへの配慮				

次年度の環境経営目標及び環境経営計画について

2023年度は基準年（2021年度）の1%減をそれぞれの目標として設定した。
2025年度の二酸化炭素排出量削減目標は2023年度に電力会社も落ち着き、正確な基準数値が算出される為、2023年度終了時点で見直しとする。
水使用量の削減目標は、加工等での使用がなく、従業員の手洗い等以外、無駄な使用はない為、2024年度まではしっかり削減し、基準を別途設定しなおす予定とする。

9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
騒音規制法	特定施設の届出	遵法
振動規制法	特定施設の届出	遵法
消防法	消防設備の管理・点検	遵法
フロン排出抑制法	3カ月/1回簡易点検の実施	遵法
浄化槽法	保守点検実施、法定検査実施	遵法
廃棄物処理法	委託基準（契約書・許可証）、マニフェスト交付・保存及び交付状況報告、水銀使用製品廃棄物の適正保管及び処分	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

10. 代表者による全体の評価と見直し・指示

営業活動促進の為、営業車を1台増やした事によりガソリン使用量、料金、CO2排出量は前期比約2倍となったことが要因で目標の二酸化炭素排出量の削減は未達となってしまった。今後は協力会社への製品依頼、引取や納品等を極力集約し、目標へ向け削減に努めてまいります。

廃棄物に関しては管理もしっかり出来ており、最低限の排出量で活動できている為、継続していきたい。

今後は客先への営業時、対外的にもエコアクション21をアピールしてまいります。